お子さまに囲碁をオススメする４つのポイント

大野城こども囲碁教室

代表者　瀬里昌信

日本棋院A級指導員

　「高齢者の道楽」がイメージの囲碁。将棋の駒と違って石の意味がわからないので敬遠されがちです。

　大人がわからないのだから、子どもには無理と思われるのも当然です。

　しかしながら、覚えが早い幼少期にこそ学んで欲しい４つのポイントがあります。

１．幼少期からの習い事に最適です。

* ルールが４つしかなく簡単です。
* 文字が読めなくても囲碁を打てるようになります。
* 囲碁にならなくても、石を取るだけでも十分楽しめます

２．囲碁で算数を学べます。

* 数の数え方からたし算・ひき算・かけ算が自然に身につきます。
* 交換法則や結合法則など中学で学ぶ基礎の準備ができます。

３．囲碁で４つの力が身につきます。

　　　囲碁で身につく４つの力とは、

* 多くの手から、最善の手を判断する「判断力」「思考力」
* 相手の意図、動き、次の手を読む「推理力」
* 考えをめぐらすなかで、自然に身につく「集中力」

４．有名大学の囲碁講座をお子さまが学べます。

　　　囲碁は、東京大学・京都大学・九州大学など５０近くの大学や多くの教育機関で取り入れられ、
大局観や判断力を養う能力向上など、その効能は再注目されています。

オススメするポイント

大学の授業では「１９路盤が打てるまで」が範囲です。

その内容は、幼少期においても学ぶことができ、半年から１年くらいで修得できます。